

風量調整



○最近煙突から煙が多く出る様になった時の対処の方法をご説明致します。
バーナーに向かって左側の吸気ボックス(風量調整の丸いハンドルが有る所)の下部吸気口(写真左)にビニールなどが詰まっていますか? 詰まっていない場合は覗き窓のフタ前後のプラスネジを取り、覗き窓のフタを外して下さい。中を見ますとシロッコファン(写真右)が見えますのでファンにビニール・ゴミが巻きついていないか確認して下さい。



注意点: 点検をされる時は必ず元の電源が切れているか確認後作業して下さい。

- 以上の確認後まだ少し煙りが出る様で有れば、シロッコファンに細かなホコリが付き送風量の減少が考えられますので、次の調整をして下さい。
風量調整のハンドル先端矢印の反対側にロックネジが有りますので六角レンチで緩めるとハンドルが回す事が出来ます。現在の数字より大きい数字の方向に少し回してロックし煙突から出る煙の確認をして、出ていなければロックネジを固定して下さい。
- まだ出ている様で有ればさらに少し数字の大きい方に回して下さい。煙が出るか・出ていないか位の位置でロックネジを固定して下さい。いきなり大きい数字まで回しますと空気過剰で着火不良が起きますのであくまでも、少しずつ数字の大きい方に回す様心掛けて作業をお願い致します。



故障箇所の特定 ※バーナーが燃焼しない時の主な原因



○点火棒から火花が飛ばず着火しない場合。
* 点火トランスの不具合か、点火棒取り付け箇所から電気が他に流れているか、他の場所で火花が飛んでいます。(点火棒の調整を参照して下さい。)



○ノズルから燃料が噴霧しない場合。
* オイルポンプの不具合かフィルターの目詰まりです。(オイルクリーナー・フィルターの項目を参照して下さい。)



○マグネットスイッチのリセットボタンの飛び出し。
* ポンプの回転が硬く過負荷状態。



○バーナーモーターが回らない場合。
* プロテクト・マグネットのリセットボタンが飛び出しています。(保護リレーの項目を参照して下さい。)

○プロテクトリレーのリセットボタンが飛び出す。
* 光電管の汚れか不着火の時。(光電管の掃除を参照して下さい。)

- 一旦燃焼してから止まる場合 * 光電管の前面が汚れて誤動作しています。(光電管の掃除を参照して下さい。)
- オイルポンプの異常音や油を切らした時
* バルブが閉めてあるか油タンクがカラになっています。(油切れの対処を参照して下さい。)



バーチャルサーバー wada-kk.co.jp

和田工業株式会社

〒504-0957 岐阜県各務原市金属団地50番地
TEL:0583-82-1291(代)/FAX:050-3391-8648(OCN)
IP:050-3386-8491(代)(OCN) VP:0570-003303-1291
W-NET FAX:fax@wada-kk.co.jp E-mail:info@wada-kk.co.jp



QRコード